

発言通告書（総括表）

平成29年第2回定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	永田議員 (自民)	危機管理・減災対策について 福祉の視点からの住まいの確保について 低未利用地、区有財産の活用について 道路整備のあり方について	減災の取り組み、災害時の行政機能の確保と地域住民・帰宅困難者への支援体制、装備の充実、 北朝鮮による日本に落下可能性のある弾道ミサイル発射時の対応について 福祉の視点から見た「住まいの確保と支援」の取り組み、高齢者施設整備の具体的な方向性について 子育て支援、高齢者福祉といった行政需要、地域需要への対応と地域との合意形成、長期計画について 区内道路の安全な歩行空間、道路環境確保にあたり整備方針、沿道住民との調整について	区長、教育長 及び 関係理事者
2	林議員 (千代田)	軽井沢町と姉妹都市提携を 受動喫煙防止条例と路上喫煙対策 川端緑道と人道橋の今後	・「軽井沢少年自然の家」を引き続き活用していくことを求める決議を踏まえた今後の対応 ・行政だけでなく相互住民交流をするために軽井沢町と姉妹都市提携を ・東京都が制定をめざす受動喫煙防止条例と安全で快適な千代田区の生活環境の整備に関する条例 ・子どもたちが遊ぶ公園は、条例で禁煙公園に ・「水辺を魅力ある都市空間に再生する条例」を踏まえた今後の対応 ・大手町地域で進む川端緑道と対岸の神田地域の整備方針を区民と共有できるような計画や体制を	区長、教育長 並びに 関係理事者
3	木村議員 (共産)	1、区長の政治姿勢を問う	○安倍首相は期限を区切った憲法9条改定に言及した。これは、「国務大臣、国会議員」の憲法尊重擁護義務に反すると思うが、区長の認識は？ ○小池都知事は6月1日、所信表明で「かつての都知事が市場業者や都民に約束し、都議会が付帯決議をした（豊洲市場の）『無害化』は達成できていない状態」と述べた。「無害化された安全な状態での開場」という都民との約束を守ろうとすれば、築地市場の豊洲移転はありえない。都民との約束を守るとは行政運営の基本方針と思うが、区長の見解は？	区長及び 関係理事者

発言通告書（総括表）

平成29年第2回定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
3	木村議員 (共産)	2. 数十年後をみすえた持続可能なまちづくりを	<p>○日本は人口減社会に突入した。が、住宅過剰供給が続く空き家が増加している。国・自治体が規制緩和をすすめ高層マンションの林立を後押ししていることが背景にある。大型開発を見直し数十年後をみすえた持続可能なまちづくりへの転換にむけて</p> <p>① 過度な規制緩和を見直す時期にきているのでは ② 地域貢献の内容を公共性等の視点から専門家等がチェックするしくみを ③ マンション再生の重視を。耐震促進助成事業の見直しを ④ 市街地再開発事業の準備段階からの情報公開を ⑤ 既存の民間住宅の空き家を活用した借上げ型区営住宅の本格的な検討を提案する。</p>	区長及び 関係理事者
4	小林た議員 (声)	<p>1. 2020に向け「受動喫煙防止」対策をどのように実施するのか。</p> <p>2. 「神田の家」 (井政 いまさ)について</p> <p>3. 神田川河川域における防災船着場の有効活用について</p>	<p>東京五輪に向けて3月1日、厚労省は受動喫煙防止の新たな法案を公表したがこの法案では屋内全面禁煙は困難。国の受動喫煙対策は混迷している。区は全国に先駆けて路上禁煙を進めてきたが、公園の禁煙は分煙にとどまり曖昧。たばこを吸わない人と喫煙者にとっての環境づくりが必要、いつまでどのように実施するのか。芳林公園のような完全密閉型喫煙所の適正配置を区内各所に計画的に行う等道筋を早急に示すべき。</p> <p>① 指定有形文化財「神田の家」(井政)は、2009年に宮本公園に移築されたが区民に広く広報されているか。 ② 宮本公園内の「神田の家」カフェ井政は地域資源として地域に知られているか。 ③ 民間施設のより有効なバックアップが必要ではないか。 ご見解は他。</p> <p>① 防災船着場とは、何のためにあるのか。 ② 千代田区の防災計画に防災船着場の位置づけが見えないのはいかがか。防災棧橋を平常時から普通に開放し有効に活用することで区民に存在を知らせ、被災時活用の促進につなげてはどうか。 ③ 手始めに和泉橋防災船着場から始め神田川流域における棧橋の開放をしてはどうか。 ④ 単に棧橋を開放するだけでなく、棧橋利用者の安心安全を守るため、区と舟運事業者の方々による協議会などの組織につなげ、棧橋の節度ある利用や神田川の安全航行のルール作りも併せて行っていくことも必要、ご見解は。</p>	区長並びに 関係理事者

発言通告書（総括表）

平成29年第2回定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
5	寺沢議員 (紡民)	個人情報保護法改正による区 への影響と対応について 介護保険改定にむけて	個人情報をしっかり守る必要があります。反面、多様な情報が活用される便利な社会にしたい。この両立をめざす個人情報保護法が5月30日施行されました。法改正による区への影響と対応について問います。 <ul style="list-style-type: none"> ◦特養等の介護職員確保について ◦総合事業について ◦自立支援の取り組みについて <p style="text-align: center;">等</p>	区長並びに 理事者
6	大串議員 (公明)	1) 地域包括ケアシステムの 構築に向けて 2) 防災リーダーの育成につ いて	<p>① 急速な高齢化が進んでいる。住み慣れた地域で尊厳を持って暮らし続けるために「地域包括ケアシステム」の構築が急がれる。地域包括ケアシステム構築に向けての基本的な考え方は。また現状はどこまでできているのか。</p> <p>② 住まいとしてのサービス付き高齢者住宅の設置にあたって区の考え方は。</p> <p>③ 区営住宅、高齢者優良賃貸住宅（こもれび）（地域優良賃貸住宅）にお住いの方も高齢化が進んでいる。サ高住同様の仕組み考えていくべきでは。</p> <p>① 平成25年の災害対策基本法の抜本的な改正が行われたがその趣旨は「行政主体の防災対策」から「住民主体の防災対策」へであった。防災リーダーの育成は喫緊の課題である。そこで、防災リーダーとしての防災士育成を提案する。ご所見は。</p> <p>② 地区防災計画策定への支援は。</p> <p>③ 町会などの自主防災組織と事業所、PTA等地域団体が連携をとって防災活動をする（仮称）地域防災協議会の設置を提案する。ご所見は。</p>	区長および 関係理事者

発言通告書（総括表）

平成29年第2回定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	内田議員 (自民)	1. ヒートアイランド対策について 2. 建築物の耐震化推進について 3. 障害者福祉計画の策定について	①熱中症の最大の要因であるヒートアイランド対策とCASBEEの視点 ①耐震化率100%実現に不可欠な現状把握の実施 ①明確な理念を掲げた障害福祉計画と障害児福祉計画の策定 ②障害者の実態把握と障害者福祉推進の体制強化	区長並びに 関係理事者
2	小枝議員 (声)	皇居周辺の景観について	1) 皇居周辺の景観に責任を負う行政主体は、どこか。またどのようにあるべきか。区長の認識を問う。 2) 景観法制定から約10年、千代田区は東京都により景観行政団体には位置づけられず今日にいたる。現在状況と今後の見通しはいかがか。また、23区で景観行政団体になっていない区はどこか。 3) 2003年(平成15年)9月宮内庁から千代田区に提出された「皇居周辺における超高層ビル等建築に対する基本的要望事項」は、千代田区の景観行政においてどのように活かされ、共有されているか。要望事項にもとづく協議が行われているとすれば具体的にどのように行われているか。 4) かつて1976年警視庁建て替え時に申し合わせをされたとされる、皇居仰角図、俯瞰角度の定め(44.6度)について、区として認識はあるか。現状を確認し、首都としての景観を維持するうえで、千代田区が背負っている責任を自覚できるか。 5) 日本一の高さになると宣伝される、常磐橋街区再開発プロジェクトの景観誘導はどのような日程で、どこが行う予定か。宮殿からの見え方について、確認しながら進めるべきではないか。	区長並びに 関係理事者
3	米田議員 (公明)	(1) 公共施設のトイレの整備について (2) 区内私立保育所等の運営補助について	①2020年オリンピック・パラリンピックに向けて、トイレの整備が重要と考える。今後の区としての整備について基本的な考え方を問う ②オストメイト対応のトイレの設置について ①ますます需要が見込まれる保育士の確保と、定着が重要と考える。今後、区としてどのように取り組んでいくか、基本的な考え方を問う ②保育士入学準備奨学金について ③保育士支援奨学金について	区長および 関係理事者

発言通告書（総括表）

平成29年第2回定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
4	小林や議員 (自民)	区民の安全安心に寄与する建築現場の仮囲いについて	区内は建設ラッシュ、区民および区に集う人達に対する、工事現場付近の安全確保について	区長並びに 関係理事者
5	大坂議員 (自民)	公園・児童遊園の受動喫煙対策について 旧高齢者センター周辺の今後について	・公園、児童遊園における受動喫煙問題について、区民の健康確保という観点から、今後どのような対策を行っていくのか。 ・旧高齢者センターの今後の活用について、これまでの検討経緯と現在の状況について。 ・隣接する神保町愛全公園との一体的な活用はできないか。	区長及び 関係理事者
6	飯島議員 (共産)	1)介護保険について 2)障害者福祉手当の対象に精神障害者を加えることを求める 3)神田一橋中学校通信教育課程について	①今国会で強行に可決された改悪法案で、利用料3割負担が導入された。利用料負担増が利用抑制になれば、「保険あって介護なし」となる。負担増による区民への影響と、区の対策を求める ②来年度の第7期改訂で保険料が区民負担増にならないよう、区の対策を求める 神田一橋通信教育課程を題材にした記録映画「まなぶ」は観客に大きな感動を与えた。このような中で、当課程も該当する「義務教育機会確保法」が今年2月に全面施行された。義務教育学齢を過ぎて中学課程の学びを希望する方々の貴重な場として、当課程が存続するための条件整備を求める	区長、教育長 ならびに 関係理事者

発言通告書（総括表）

平成29年第2回定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
7	牛尾議員 (共産)	(1) ワンルームマンションの建設について (2) 区立保育園の保育士の増員について	<ul style="list-style-type: none"> 法の抜け穴を利用して、最低居住面積水準以下のワンルームマンションを建設することについてどのように思うか、区の認識を問う。 このようなマンション建設のやり方が広がらないように、「ワンルームマンション等建築物に関する指導要綱」の改正を求める。 現在の区立保育園への正規保育士の人数の配置が適正だと考えているのか、区の認識を問う。 正規保育士の負担軽減が質の高い保育の維持につながる。その視点から正規保育士の増員を求める。 正規保育士の増員によって、区役所の他の部署が減員にならないよう、定数条例の抜本的な見直しを求める。 	区長、教育長、 関係理事者
8	池田議員 (自民)	学生の地域活動への参画促進について	<ul style="list-style-type: none"> 学生の参画によって円滑に実行できている、千代田区関連事業や地域活動が増えてきている。複数の大学等のサークルを把握し活動している団体の存在を周知しもっと幅広く活用してはどうか。 そのような団体の学生に地域をサポートし力になるようなネットワークを構築させ、災害時にも協力してもらうような体制はとれないか。 地域貢献、社会貢献をしている学生を適正に参画させるように人材育成することは急務ではないか。 	区長及び 関係理事者
9	岩佐議員 (紡民)	1. 受動喫煙対策の推進と生活環境条例について 2. 多様な家族形態に対応するために区営住宅の入居要件緩和について	<ul style="list-style-type: none"> 東京2020オリンピック・パラリンピックを3年後に控え、早急に本庁舎をはじめ公共施設内での受動喫煙防止策を徹底すべき 受動喫煙防止を進めるためには、路上喫煙を防止している生活環境条例の見直しを検討すべきではないか 家族の住まい方が時代と共に変化している。区の住宅・福祉施策も多様な家族形態に対応していくべきではないか。 	区長及び 関係理事者

発言通告書（総括表）

平成29年第2回定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
10	岩田議員 (民進ク)	路上喫煙者に科される過料の 「逃げ得」について 区内におけるペットの生体販売 について	過料を支払わない「逃げ得」を許さない為に、今後区がすべき対策は何か。 ペットの生体販売には様々な問題がある。区としてできることはないか。	区長並びに 関係理事者
11	たかざわ議員 (千代田)	1. まちづくりについて 2. 中高生の自習スペースにつ いて	区長招集挨拶の中で「住み続けられる街を目指して住宅整備や住環境の向上などの政策に取り組んできた」とあるが、果たして住み続けられる街づくりとなっているか？ 様々な開発、計画の中でトラブルがある。建築紛争防止の対策は取られているが効果が上がっているか？ 今後のまちづくりの方針、方向性は？ 千代田図書館は、評判も良く利用者も多い。児童・生徒が自習の場所としても利用が多いが、混雑により利用できない場合が多いと聞く。児童館などでも自習は可能となっているが、自習に適した環境とはいえず、自習室の整備を考えるべきではないか？子どもは我々の未来を担う宝物であるのだから。	区長並びに 関係理事者
12	はやお議員 (千代田)	1. 子どもから高齢者まで在宅 での療養生活をサポートする 体制確保の必要性 2. 表層地盤の視点に立った地震 発生時のゆれやすさに関する 現状と対策	高齢者総合サポートセンター(かがやきプラザ)と九段坂病院との連携が開始されて1年半が経過した。今後は、医療機関と一体的な環境にあることの活用を視野に、地域で暮らすさまざまな世代の医療や介護の必要な人々へのサポート体制の整備をしていく必要性があると考えます。そこで以下について問う。 (1)本区における病児保育の現状と課題について。 (2)療養通所介護の必要性と児童発達支援事業との一体的な取り組みの可能性について。 表層地盤における粘土層の深さが、地震発生時の建造物への揺れに影響を及ぼすことがわかってきている。公表されているゆれやすさマップも、従来の地形を基準としたものから建物の高さに着目したものへと改訂が進められている。そこで以下について問う。 (1)本区における表層地盤に関する分析と地区によって異なるゆれやすさへの対策の状況について。 (2)建造物の高さによるゆれやすさについて、本区においてはどのような課題があると考えているか。	区長、教育長 並びに 関係理事者